

西日本学生ハンドボール選手権大会の見直しについて

遡ること4年前（2016年度）、2020年東京オリンピックに向けた代表強化支援の一環として、西日本インカレ実施方法を変更しました。そして、当該方式は2019年度にその役目を終え、2020年度からは旧来方式に戻すことを前提に、仙台インカレ（2019年11月7日）において4学連理事長（清水、中川、三輪、真鍋）、さらに檜塚全日本学連理事、高野参与を交えた協議により、以下事項が決定しました。

従前の取り決め通り、2020年度からは男子32・女子16の予選リーグ＋決勝トーナメント方式に戻す。ただし、2020年度については以下の通りとする。

② 男子8リーグ（シード：東海3・関西3・中四国1・九州1）

② 女子4リーグ（シード：東海0・関西4・中四国0・九州0）

※各地区の1位は同一ブロックに入らない。

③ 出場校数

男子：東海7、関西13、中四国5、九州6、開催地枠1

女子：東海3、関西7、中四国2、九州3、開催地枠1

④ インカレ出場権

男子：8リーグ各1位＋各2位によるインカレ決定戦勝者、計12チーム

女子：4リーグ各上位2位まで、計8チーム

※インカレ推薦枠（男子：各地区1、女子：各地区2）

ただし、2022年度以降の試合方式及び出場枠等については、2020年度中に基準作りを行い、2022年度より見直し案を適用します。

以上